

令和2年度 事業計画(案)

事業所名	ワークセンターあいの	実施事業名	就労継続支援 B 型事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬単価が成果主義になったことを踏まえ、引き続き利用者支援における支援力アップと作業効率、生産性の向上を目標に掲げて取り組んでいく。 ・各関係機関と連携しながら、生活の質の安定、精神の安定を図り、利用者の方々が安心して活動へ参加できるように努める。 ・個別支援計画の充実と計画に沿った支援を行い、技術や精神面での向上を図り、年間1名以上の一般就労が出来るように支援力強化に努める。 		
重点目標	<p><u>短期目標(1年以内)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員を維持するため、新規利用者を3名増やす。 ・平均工賃22,000円を目指す。 ・個別支援計画を支援者へより浸透させる事により、個々の特性を生かし支援技術の向上を図る。 <p><u>長期目標(3年以内)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業種目を整理しながら、メイン作業を施設外就労へと移行させる。 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援学校の職場実習や見学を積極的に受け入れる。 相談支援事業所と連携を図り、地域在宅者等の受け入れを行う。 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・菓子箱折り、厨房作業、加工作業(施設外実習)、被服作業、を提供し、個々の能力、意欲、体力に合わせて支援を充実する。 ・健康な生活を保つため、必要に応じて通院援助やコミュニケーション等の支援を行う。 ・余暇支援、社会資源の利用促進を行う。 ・他事業所等の施設見学を行う。 3. 実費負担 <ol style="list-style-type: none"> ①食事代 1食につき150円(特別な食事の提供:実費) ②入浴代 1回100円(希望者のみ)※必要と認められた場合。 ③その他行事参加費等、一定額を超えた場合は実費負担有り。 <p style="margin-left: 40px;">※実費負担が発生する場合は予めお知らせし同意を得る。</p> 4. 加算 <ul style="list-style-type: none"> ・初期加算30単位 ・食事提供体制加算30単位 ・福祉専門職配置加算10単位 ・送迎加算27単位 ・欠席時対応加算94単位 ・目標工賃達成指導員配置加算80単位 ・介護職員処遇改善加算(1) 重度者支援体制加算 25 単位 5. 事業実施日数 307日 6. サービス提供加算 8:00～17:00(営業時間) 7. 健康管理計画 (利用者) <ol style="list-style-type: none"> ①利用時(到着時)の検温、血液測定による健康チェックの実施。 ②年1回の血液検査、胸部レントゲン、年1回の内科検診の実施。 ③インフルエンザ等の予防接種を進め、費用の半額は事業所にて負担する。 ④利用時、体調不良やケガが発生した場合は応急処置を行う。また、状況によっては通院等を行い直ちに家族に連絡を取り対応する。 <p style="margin-left: 40px;">※協力医療機関:愛野記念病院(総合病院)、天野医院、寺田歯科医院</p> (職員) <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病予防検診は男性40歳、女性35歳以上を対象に実施する。 		

②若年者の健康診断は事業所負担にて実施する。

8. 災害避難訓練計画

①避難訓練 年2回以上実施(内1回は地震想定 of 訓練)

②通報訓練及び消火訓練 年1回以上実施

③その他

・台風、積雪による影響が予測される場合 of 休業については随時早急に対応する。

・送迎中の緊急連絡は、送迎緊急対応マニュアルに沿って対応する。

9. 職員体制

職 種	員 数	常勤換算後の員数
管理者	1名(常勤兼任)	
サービス管理責任者	1名(常勤兼任)	
生活支援員	2名(常勤専任、非常勤兼任)	
職業支援員	6名(常勤専任1名、兼任2名) (非常勤専任3名)	

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位(人)は省略】

／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原則日数	22	23	22	23	23	22
営業日	26	24	26	27	26	26
目標数	550	598	572	598	598	572
／月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原則日数	23	22	23	23	20	23
営業日	26	24	25	24	24	27
目標数	598	572	598	598	520	598

年間営業日数 305

年間支給量(原則) 269

年間延べ利用者数 6, 972

平均利用率 25.9

11. 施設整備及び備品購入計画

①ソファベット

②厨房増築工事

③フロア照明(LED)

④業務用冷蔵庫 1台 1, 000, 000円

⑤事務所から食堂への通路の雨漏り防止

⑥軽トラック(ホロ車)買い替え(就労)

令和 2 年度 事業計画 (案)

事業所名	ケアステーションあいの	実施事業名	生活介護事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士、看護師、作業療法士、栄養士等の専門職の配置及び連携により、各々が専門性を発揮しながら、障がいの特性や個々のニーズに応じたきめ細やかなサービスの提供に努める。 ・基本的な活動を「自立生活チーム」「作業チーム」「創作チーム」「リハビリチーム」の4班編成とし、それぞれの活動チームの目的を職員は正しく理解した上でプログラム化することにより、更に質の高いサービスを展開する。 ・福祉QC活動の推進によりサービスの質を追求するとともに職員の資質向上に努める。 ・定員28名、人員体制配置1.7：1で実施する。 		
重点目標	<p>短期目標：(1年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士、理学療法士(委託)、看護師による医療チームにてリハビリプログラムを確立し実施する。 ・「自立生活チーム」のプログラムを確立し、一人ひとりが自分の生活スタイルを考え、地域で輝いて生活できるよう支援する。 ・「作業チーム」において、現在の作業内容・方法を見直すことで作業の拡充を図り工賃に繋げる。 ・「創作チーム」において、リハビリの要素を持ちつつも芸術的観点に立った作品の展示や商品化を目指す。 ・生活介護でありながら作業実績に応じた工賃を支払えるよう改定した工賃規定に基づき工賃を支払う。 <p>長期目標 (3年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCソフトの導入によりアセスメント等の帳票を整備する。 ・作業活動において、年間を通してできる作業を確保する。 ・店舗「星のくまアトリエ」の今後の運営方針について検討を重ねる。 ・職員の専門性を高めるための資格取得の推進、並びに研修会への参加を計画的に行う 		
事業計画	<p>1. 経営安定のため利用者の確保に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自立生活チーム」のプログラムを確立し、支援学校(高等部)や相談支援事業所へアピールすることにより、新規利用者の確保に努める。 ・短期入所事業の活用により、生活介護事業の利用を推進する。 ・看護師の配置を手厚くすることで医療に対する加算を算定しつつ、医療的な支援を必要としながらも作業を希望する利用者の受入れを生活介護で行う。 ・ワークセンターあいのにおいて、B型就労が難しい方への適正なサービス利用ができるようサービス調整を行う。 ・作業療法士、理学療法士(委託)の配置により、リハビリテーションマネジメントの視点に立ったアセスメント並びに実施計画書を作成・実施することでリハビリチームにおける専門性を高める。 		

2. 提供するサービス内容

- ・ 食事、入浴、排せつ等日常生活上必要な介護支援
- ・ 健康な生活を保つための衛生支援、リハビリ等機能訓練
- ・ 4つの活動チームにより、充実した支援の提供
- ・ 余暇支援、社会資源の利用、コミュニケーション支援 など

3. 実費負担

(食事代) 1食 150円

(入浴代) 1回 100円

(送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料

(その他) 選択による活動費は実費負担 (小グループ活動など)

(キャンセル料) 無料 (欠席加算の請求のみで本人負担はなし)

(健診料) 事業所が定める健診については無料

インフルエンザ[※]予防接種については半額負担とし、接種を奨励する。

4. 加算

- ・ 人員体制配置加算 (1.7 : 1) 212単位 * 5月より
- ・ 福祉専門職員配置加算 15単位
- ・ 常勤看護職員等配置加算 38単位
- ・ 食事提供加算 30単位
- ・ 欠席時対応加算 94単位
- ・ 送迎加算 21単位 (重度+28単位)
- ・ 福祉・介護職員処遇改善加算

5. 事業実施日数 年間307日

6. サービス提供時間 8:00~17:00 (営業時間8:00~18:00)

7. 健康管理計画 内科健診 2回/年

8. 災害避難訓練計画 消防計画に基づき実施する

9. 職員体制	管理者 (兼務)		1名
	サービス管理責任者	常勤・兼	1名
	生活支援員	常勤・専	4名
		常勤・兼	7名
	〃	非常勤・専	3名
	〃	非常勤・兼	4名
	〃 (送迎)	非常勤・専	2名
	看護師	常勤・専	2名
	〃	非常勤・専	1名

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位（人）は省略】

【生活介護事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	26	24	26	27	24	26
目標数	715	660	715	742	660	715
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	27	25	26	25	24	27
目標数	742	687	715	687	660	742

年間営業日 307日

年間延べ利用者数 8,440名

11. 物品購入等計画

- ・リハビリのための器具ほか 30万円
- ・創作活動のために必要な経費 10万円
- ・作業活動のために必要な経費 10万円
- ・社会体験及びレクリエーション活動のための経費 20万円

12. 施設整備等計画

- ・玄関周辺改築及び自動ドアの設置 400万円 ※理事会承認済み

令和 2 年度 事業計画 (案)

事業所名	ケアステーションあいの	実施事業名	短期入所(単独型)事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所定員（6床）をフルに活用し、短期入所を希望する利用者の要望に沿えるよう、また緊急時に安心して生活できるよう支援体制を整える。 ・相談支援事業所や学校等関係機関との連携により、ニーズを把握し調整する。 ・家族との良好な関係性により、相談しやすい環境づくりと介護負担の軽減を図る。 ・利用者の特性や必要な支援に合わせた支援体制を整え、安心して快適な生活空間を提供する（直接的な支援はより丁寧に、間接的な支援は効率的に）。 ・自立した生活のための個別支援を希望する利用者へ、配膳や洗濯・寝具の準備など手段的な日常生活動作を高めるための支援を行う。 ・定員6名で実施する。 		
重点目標	<p>短期目標：（1年以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の特性や必要な支援に合わせた夜間体制の確保や休日の支援のための体制を整える（夜勤体制の導入）。 ・日中の過ごし方については、個々の希望や障害の程度に配慮して支援を行う。 <p>長期目標（3年以内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別給付費(支給量)減額に対応するために登録利用者数を維持する（50名）。 ・利用料（実費負担額）について、社会情勢に合わせた単価の見直しを行う ・雲仙市地域生活支援拠点事業への協力を行う。 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校や相談支援事業所と連携し、遠方の利用者も送迎等を工夫することにより積極的に受け入れる ・支援度が高い利用者に対しては生活支援員の配置時間の工夫や夜勤体制等、柔軟な支援体制により利用者を確保する ・医療的ケアが必要な利用者については要相談とするが、医療的ケアを伴わない重症心身の利用者の受け入れについては前向きに検討する。また、職員の支援レベルを上げるための研修会等を積極的に行う。 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・食事、排せつ、入浴、服薬管理等日常生活に必要な支援 ・自立した生活のために必要な個別の支援（配膳や洗濯・寝具の準備など） ・相談及びコミュニケーション支援 ・安心して過ごすための余暇支援（カラオケなど） 		

3. 実費負担

(食事代) 朝食 100 円 昼食 150 円 夕食 250 円

(入浴代) 無料

※介護度が高い方は生活介護の入浴サービス(有料)を利用させていただく

(送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料

※基本的には日中サービス利用にて送迎サービスを行う

(その他) 選択による活動費は実費負担 (内容については事前にお知らせする)

(キャンセル料) 無料

(対象となる加算)

- ・短期利用加算 30 単位 * 1 年間で通算して 30 日間
- ・単独加算 320 単位
- ・食事提供加算 48 単位
- ・栄養士配置加算 12 単位
- ・送迎加算 186 単位
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

4. 事業実施日数 365日営業

※5/3~6、8/14~16、12/30~1/3は緊急性の有無など相談による

※宿泊を伴う行事等で職員配置が困難な場合は事前に知らせる

5. サービス提供時間

24時間 (日中活動利用が可能な場合は日中活動を優先する)

6. 健康管理計画

事前のアセスメントにより健康状態を把握する

服薬についてはマニュアルに基づき、看護師協力の下服薬管理を行う

7. 災害避難訓練計画

消防計画に基づく

9. 職員体制

管理者 1名 (兼務)

生活支援員 6:30~21:00 (利用者の支援度による)

非常勤・専 1名

常勤・兼 3名

非常勤・兼 3名 (栄養士含む)

宿直 18:00~7:00

夜勤 17:00~23:00、3:00~8:00

11. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位（人）は省略】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	30	31(27)	30	31	31(28)	30
目標数	190	175	190	200	180	190
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	31	30	31(29)	31(28)	28	31
目標数	200	190	185	180	180	200

年間営業日 365(353) 日

年間延べ利用者数 2,260名

12. 物品購入等の計画

- ・ 清掃、メンテナンス（1回／年） 100,000円
- ・ 和室畳の表替え（3部屋） 100,000円
- ・ 洋室畳作成（2部屋） 75,000円

令和 2 年度 事業計画 (案)

事業所名	キッズステーションあいの	実施事業名	放課後等デイサービス事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う。 ・「障がい」の受容に伴う家族への「寄り添う支援」を行いながら、子どもの発達を共にサポートしていく。 ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める。 ・作業療法士の協力により、集団療育と個別療育を明確に行う。 ・自立支援協議会(子ども支援部会)への参加や市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する。 ・アクティビティセンターあいのと連携し、ライフステージに沿った支援を協働して行う ・定員10名で実施する。 		
重点目標	<p>短期目標：(1年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、児童指導員等の役割を明確にし、集団及び個別療育のプログラムを実施する。 ・発達障害への理解を深めるための専門的な研修を受けることで支援の質を高める。 ・一人ひとりの子どものをより深く理解するため、日々積極的に家族と関わり、モニタリング時はできる限り家族同席でサービス担当者会議を行う。 <p>長期目標(3年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚運動や対人関係等が苦手な子どもに対する遊びやソーシャルスキルトレーニングが提供できる職員を育成する。 ・保育士等の有資格者を確保する。 ・未就学児への療育(児童発達支援)に対応できる職員を育成する。 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談支援事業所との連携を密にし、特に新規利用者(新1年生)については日中一時支援を組み合わせた段階的なプログラムにより、お互いに無理のない支援を行う。 ・作業療法士の協力よりリハビリマネジメントにより、さらに質の高い支援を行う ・アクティビティセンターあいのと協働することにより、ライフステージを見据えた支援を家族と共に考えていく 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・療育的支援…障がいに配慮し、「こども」の発達に応じた支援を行う ・学習支援…家庭学習への動機づけとなる支援を行う ・社会体験…長期休みを利用して、様々な社会体験を行うことで見聞を広め、公共のマナーを学ぶ ・家族支援…障がいの受容に寄り添い、信頼される関係づくりに努める 3. 実費負担 <ul style="list-style-type: none"> (食事代) 1食 150円 (入浴代) 1回 100円 		

(送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料
 (その他) 選択による個々の活動費は実費負担 (事前にお知らせする)
 (キャンセル料) 無料 (欠席加算の請求のみで本人負担はなし)

4. 加算

- ・福祉専門職員配置等加算 15 単位
- ・児童指導員等加配加算 155 単位
- ・送迎加算 54 単位
- ・欠席時対応加算 94 単位
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

5. 事業実施日数 年間 307 日

6. サービス提供時間 13:00~17:30 (営業時間 8:00~18:00)
 8:30~17:30 *学校休業日

7. 健康管理計画 看護師の協力による毎日のバイタルチェック

8. 災害避難訓練計画 消防計画に基づき実施する

9. 職員体制

管理者 (兼務)		1 名	
児童発達管理責任者	常勤・兼	1 名	
保育士	常勤・専	2 名	* 1 名は福祉専門職
〃	非常勤・専	3 名	
児童指導員	常勤・専	2 名	* 1 名は加配職員
〃	常勤・兼	1 名	
指導員 (送迎)	非常勤・専	2 名	

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位 (人) は省略】

【放課後等デイサービス事業】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
営業日	26	24	26	27	24	26
目標数	260	240	260	270	240	260
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
営業日	27	25	26	25	24	27
目標数	270	250	260	250	240	270

年間営業日数 307 日

年間延べ利用者数 3,070 名

11. 物品購入等計画

- ・学習や療育のための教材及び書籍等 20 万円
- ・社会体験の為の年間行事費 30 万円
- ・専門性を高めるための研修費用 5 万円
- ・ 〃 教材費用 5 万円

令和2年度 事業計画 (案)

事業所名	アクティビティセンターあいの	実施事業名	放課後等デイサービス事業
事業方針	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、学校、関係機関との連携を図り、個々の特性と発達の段階に応じた支援を行う。 ・将来を見据えた支援を、家族に寄り添い、共通認識を構築しながら子どもの発達を共にサポートしていく。 ・発達の特性に応じた支援を実施するための研修会へ積極的に参加し、職員のスキルアップを図り専門性を高める。 ・市内の放課後等デイサービス事業所と連携し、地域で子どもの発達を支援する。 ・キッズステーションあいのと協働し、療育的な支援のみならず社会生活を送るためのライフステージに沿った訓練的な支援も取り入れる。 ・定員10名で実施する。 		
重点目標	<p>短期目標：(1年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージを見据えた支援をより具現化するために専門の講師を招聘し、子どものみならず、保護者や支援者も共に学ぶ。 ・発達障害への理解を深めるための専門的な研修を受けることで支援の質を高める。 ・一人ひとりの子どもをより深く理解するため、日々積極的に家族と関わり、モニタリング時はできる限り家族同席でサービス担当者会議を行う。 <p>長期目標 (3年以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手段的な日常生活動作や様々な社会体験、コミュニケーション力を高めることでより豊かな地域生活が送れるよう、ワークセンターあいのと協働し、それぞれの自立に向けての支援体制を整える。 ・子どもの発達を理解するための専門的な研修に加え、就労や地域生活等の領域にも踏み込んだ研修参加により、職員の質を高める。 		
事業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営安定のため利用者の確保に努める <ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談支援事業所との連携を密にし、実習生の受入れを積極的に行うと共に独自のスタイルのプログラムをアピールすることで利用者の確保に努める。 ・送迎時間やルートの見直しにより、特別支援学校高等部及び地元中学生の利用を可能にする。 ・キッズステーションあいのと協働することにより、ライフステージを見据えた支援を家族と共に考えていく。 2. 提供するサービス内容 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活訓練…調理、金銭管理、時間の概念、交通機関の利用に関する訓練を行う暮らしのルールや生活リズムの管理、休日の過ごし方など将来を見据えた支援を行う。 ・個別学習支援…環境調整等を行う中で、学習定着への支援を行う。 苦手とする部分や個々に応じた教材を使用し支援を行う。 ・創作的活動 … 手工芸、音楽鑑賞、園芸、絵画など得意分野を生かすと共に、生活をより豊かにするための支援を行う。 		

- ・コミュニケーション支援…専門の講師による学習会。SST など。
スポーツやゲームをツールとして取り入れ、勝負での感情のコントロールや自分の思いと異なった時の適切な対応の支援を行う。
- ・地域交流の機会の提供…社会体験や工場見学
ワークセンターあいのの協力による職業体験など
美化運動（クリーンウォークや公園清掃）
- ・余暇活動の提供…レクリエーションや調理実習、その他の活動の計画・事前学習など自ら計画、実施し振り返りを行う。

3. 実費負担

- (食事代) 1食 150円
- (入浴代) 1回 100円 (希望され必要と認められた場合)
- (送迎費) 重要事項に定めるサービス地域の範囲においては無料
- (その他) 選択による個々の活動費は実費 (小グループ活動、買い物支援など)
- (キャンセル料) 無料 (欠席加算の請求のみで本人負担はなし)

4. 加算

- ・福祉専門職員配置等加算 15単位
- ・児童指導員等加配加算 155単位
- ・送迎加算 54単位
- ・欠席時対応加算 94単位
- ・福祉・介護職員処遇改善加算

- 5. 事業実施日数 年間305日
- 6. サービス提供時間 8:00～17:00 (営業時間8:00～18:00)
- 7. 健康管理計画 看護師の協力による毎日のバイタルチェック
- 8. 災害避難訓練計画 消防計画に基づき実施する
- 9. 職員体制

管理者 (兼務)		1名
児童発達管理責任者	常勤・兼	1名
保育士	常勤・専	2名
児童指導員	常勤・専	1名
〃	常勤・兼	1名
〃	非常勤・専	1名
指導員	常勤・兼	2名
	非常勤・専	1名

10. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位(人)は省略】

【放課後等デイサービス事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	26	24	26	27	26	26
目標数	260	240	260	270	260	260
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	26	24	25	24	24	27
目標数	260	240	250	240	240	270

年間営業日数 305日

年間延べ利用者数 2,580名

11. 物品購入等計画

- ・ 学習や療育のための教材及び書籍等 20万円
- ・ 社会体験の為の年間行事費 30万円

令和2年度 活動計画 (案)

事業所名	アクティビティセンターあいの	実施事業所	放課後等デイサービス事業	起案者	宮木智子
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や学校と連携を図り、個々の特性と発達段階に応じた支援を行う ・手段的日常生活動作や社会体験、コミュニケーション力を高めることで、それぞれの自立に向けた支援体制を整える ・社会資源を活用するなかで、ソーシャルスキルやライフスキルを育てるための支援を継続して行い、アウトプット出来る場の提供を行う ・専門的な研修、就労や地域生活等の領域にも踏み込んだ研修参加により、支援の質を高める 				
サービスの内容	具体的な活動内容	対象者 (児)	経費 (円)	その他の事項	
・日常生活訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・調理、金銭管理、時計、交通機関の利用に関する訓練を行う ・暮らしのルールや生活リズムの管理、休日の過ごし方など将来を見据えた支援を行う 	全児童 中学生・高等部生	100,000	調理 (昼食・おやつ) や暮らしのルールなどは月に1回、公共交通機関の利用は長期休みで計画をたて行う	
・個別学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・環境調整等を行うなかで、学習定着への支援を行う ・苦手とする部分や個々に応じた教材を使用し支援を行う 	全児童	30,000	月～金の放課後に行う。必要に応じ、食堂を利用するなど環境調整を行う	
・創作活動	<ul style="list-style-type: none"> ・手工芸、音楽鑑賞、園芸、絵画など得意分野を生かすとともに、生活をより豊かにするための支援を行う 	全児童	50,000	季節に応じた壁面作りを行う。自由に活動を選び取り組めるようさまざまな活動を提供する	
コミュニケーション支援	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の講師による学習会。SST など ・スポーツやゲームをツールとして取り入れ、勝負での感情のコントロールや、自分の思いと異なった時の適切な対応の支援を行う 	全児童	100,000	中村まりこ先生による学習会 (令和2年度は4回実施予定)	
地域交流の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験や工場見学 ・ワークセンターあいのの協力による職業体験など ・美化運動 (クリーンウォークや公園清掃) 	全児童 中学生・高等部生 全児童	170,000	長期休みを利用し、公共交通機関を利用し、社会体験を行う	
余暇活動の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションや調理実習、その他の活動の計画・事前学習など自ら計画、実施し、振り返りを行う 	全児童	50,000	長期休み時に行う	

令和 2 年度 事業計画 (案)

事業所名	星のホームあいの	実施事業名	共同生活援助事業 短期入所事業
事業方針	1. 地域との結びつきを重視し、奉仕活動、自治会活動、各種行事等に積極的に参加し地域貢献に努め、入居者は地域住民として認知され、安全で安心した普通の暮らしが出来る様支援を行う。 2. 住民は、バリアフリーで整備し車椅子利用者でも安全で安心して日常生活が過ごせる様な支援を行う。 3. 短期入所も定員 1 名で実施する。		
重点目標	短期目標：(1 年以内) ・入居者は地域住民として毎週 1 回の奉仕活動や各種行事に積極的に参加する。 ・やりたい事、出かけたい場所など、希望に沿って休日を有効に過ごせる様に支援する。 ・個別には移動支援サービスを利用して個人のニーズに合った支援を行う。 ・毎日が楽しく安心して過ごせるように健康面・衛生面に留意し支援を行う。 長期目標 (3 年以内) ・入居者の特性に合った支援が出来る様に 2 号館を建築に取り組む。		
事業計画	1. 利用定員 9 名 短期入所：1 名 2. 入居者が地域の一員であることを認識し、安全で楽しく安定した居宅生活出来る様に職員は業務に推進する。 3. 提供するサービス内容 ①日中活動事業所や企業との連携、調整等を必要に応じ行い、安定した生活および充実した日中活動 (一般就労を含む) ができるように務める。 ②入居者の自立に向けて、個別支援計画に沿って日常生活支援を行う。 ③居宅に近い生活が過ごせるように、健康管理、食事提供、日常生活、余暇活動、社会経済活動等の支援を行う。 ④世話人・支援員の意識向上や現場力向上のため、法人内、外部研修会に参加する。 4. 実費負担 ①家賃 25,000 円/月 ②食材料費 21,000 円/月 ③共同費(水道光熱費) 7,000 円/月 ④日用品費 2,000 円/月 その他行事参加費は実費負担あり。 (実費負担が発生する場合は、予めお知らせし同意を得る) 【短期入所】 ・朝食代 100 円 ・昼食代 150 円 ・夕食代 250 円 5. 加算 ①福祉専門職配置等加算 (I) ②夜間支援等体制加算 (I・II) ③医療連携体制加算 (V) ④福祉・介護職員処遇改善加算 (I) 【短期入所】 ① 食事提供加算 ②送迎加算 (I) ② 栄養士配置加算 (II) ④福祉・介護職員処遇改善加算 (I)		

6. 事業実施日数 365日

7. サービス提供時間 24時間

8. 健康管理計画

(1) 次の健康管理により、変化や気づきがあれば医療機関への受診等の対応を行う。

①朝夕の検温、血圧測定による健康チェックの実施。

③ 年1回、市の健康診断受診（総合健診）

④ その他入居者の状況により通院を行います。また状況によっては家族へ連絡し連携して対応する。

※協力医療機関：愛野記念病院（総合病院）・天野医院・寺田歯科医院

(2) 職員の定期健康診断について

・生活習慣病予防検診（男性40歳・女性35歳以上）

・若年者の健康診断は事業所負担にて実施する。

9. 災害避難訓練計画

(1) 火災については、防火管理者を配置し消防計画書を作成し次の通り対応する。

①避難訓練 年3実施（内1回は地震想定の実施）

②通報訓練及び消火訓練 年1回以上実施

(2) その他について

①大雨・降雪・積雪による警報、台風による影響が予測される場合は情報収集及び関係各所との連絡を密にして安全に配慮する。

②送迎中に関する緊急連絡は、送迎緊急対応マニュアルに沿って対応する。

10. 職員体制

職 種	員 数	常勤換算後の員数
管 理 者	1名（常勤兼任）	
サービス管理責任者	1名（非常勤専任）	1人
世 話 人	4名（常勤専任 2名） （常勤兼任 1名） （非常勤兼任 1名）	1.5人
生活支援員	5名（常勤兼任 1名） （非常勤専任 2名） （非常勤兼任 1名）	2人
看 護 師	1名（非常勤兼任）	
栄 養 士	1名（非常勤兼任）	

1 1. 利用者目標及び営業日数【延べ人数、単位（人）は省略】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	30日	31日	30日	31日	31日	30日
目標数	270	279	270	279	279	270
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
目標数	279	270	279	279	252	279

年間営業日：365日

年間延べ利用者数：3,285人

平均利用率：9人

1 2. 施設整備及び備品購入計画

- | | |
|-----------------------|------|
| ① 風呂場前にパーテーション（入居者専用） | 1万円 |
| ② 脱衣所にエアコン設置 | 14万円 |
| ③ 8月に床清掃（山口清掃さん） | 7万円 |
| ④ テブラ | 9千円 |
| ⑤ 除湿機 | 5万円 |

令和2年度 活動計画 (案)

事業所名	星のホームあいの	実施事業名	共同生活援助事業	起案者	平野嘉子		
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民として毎週1回の奉仕活動に参加し地域の方々との繋がりを持つ。 ・休日を有効に充実した日々を過ごせるように。年に数回グループで外食やコンサートなどで早期発見に努める。 ・年に一度は健診を受け健康面・衛生面に留意し健康な体を維持すること。検診を受けることで早期発見に努める。 						
サービスの内容	<p>具体的な活動内容</p>						
スポーツ大会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆうあいスポーツ大会 ・ 手をつなぐ育成会 (琵琶狩り) (みかん狩り) 	対象者	<ul style="list-style-type: none"> 入居者及び職員 	経費	<ul style="list-style-type: none"> ¥5,500 弁当 	その他の事項	<ul style="list-style-type: none"> @500×11名 (うち職員3名)
余暇時間の充実化	<ul style="list-style-type: none"> 1. あいの夏祭り 一年に1回の自治会の行事に参加する 2. バーベキュー 3. 外食 (年に1回花見) ソーメン流し 4. ①誕生会・②クリスマス会・③忘年会 	<ul style="list-style-type: none"> " 入居者及び職員 入居者及び職員 入居者及び職員 	<ul style="list-style-type: none"> 個人負担 個人負担 個人負担 個人負担 	<ul style="list-style-type: none"> 個人負担 個人負担 個人負担 個人負担 	<ul style="list-style-type: none"> @500×10名×2回 (うち職員2名) @800×12名 @800×11名 @800×11名 		
①ホーム別活動	<ul style="list-style-type: none"> 1. サッカーや野球観戦・コンサート等本人が希望された場合参加する。 移動支援を利用して希望に沿った場所やイベントに行き充実した休日を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者及び職員 	<ul style="list-style-type: none"> 個人負担 	<ul style="list-style-type: none"> ① ¥30,000 ② ¥10,000 ③ ¥23,000 	<ul style="list-style-type: none"> @4,000×ケーキ6回 おやつ6回 @800×10名 @1,500×15名他 飲み物 		
②個別支援	<ul style="list-style-type: none"> 内科検診 (天野医院) 年2回 血液検査 (パブリック) 年1回 年に1回の市の特定健診は必ず受ける 女子は乳がん・子宮がんの検査も実施する 健康面には十分に注意し早期発見に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者全員 女子の入居者 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所負担 個人負担 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所負担 個人負担 	<ul style="list-style-type: none"> 内科検診・血液検査は事業所負担 心電図や胸部X-Pは年1回実施 マンモ・子宮がん検診は自己負担 		
生活習慣病検診							